

地球の生き物が危ない!! ～地球温暖化～

未来を守る ゼロエミッション新聞

発行日
令和6年11月10日
新潟市立
瀧川小学校
海津 奏太

今、地球温暖化によって絶滅の危機にさらされている生き物が数多くいます。温暖化の影響を受ける生き物としてホッキョクグマやアフリカゾウが挙げられます。

ホッキョクグマ

気温の上昇によって北極海の海面上で暮らせる時期が短く、アザラシなどの獲物をとれなくなっています。



アザラシがとれないよ、おなかすいた!

アフリカゾウ

生息地で干ばつが起りやすくなり、食料となる植物が育ちにくくなったり、水が手に入りにくくなっています。



干ばつがカラカラだから、たすけて!

地球温暖化の影響

- ① 海面の上昇
- ② 生態系への影響
- ③ 健康被害
- ④ 異常気象の増加
- ⑤ 農作物への影響など

私たちの生活への影響も大きい!!

脱炭素をめざせ!!

日本は、二〇五〇年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会をめざしています。

カーボンニュートラルとは、GHGの排出と吸収を、全体として、ゼロにするという考え方です。




日本にとって重要な“船”

日本は、海で囲まれている国で、世界中との貿易が**すごく重要**です。また、日本が貿易をするためには、船が必要不可欠で、**貨物の九十九パーセントは、船で運ばれて**きています。



船は、もともとGHGを出す量が少ないですが、GHGをなくすために、取り組みが進められています。

地球にやさしい船になるんだね!




地球温暖化を片付け!!

ゼロエミッション船

なんと! GHGを排出しない船!!

未来イメージ



水素燃料船

日本の陸上分野でも利用が広がっている水素燃料は、燃焼による**CO₂が発生しない**、クリーンな燃料です。

アンモニア燃料船

アンモニアも、水素と同様に燃焼に際して**CO₂を発生しません**。毒性などの課題はありますが、水素と比べると貯蔵が容易です。


低速LNG+風力推進船

LNG燃料は、低速設計や風力推進等を組合せると**CO₂排出量を86%削減**することができ、将来的にゼロエミッション船の達成も可能です。

排出CO₂回収船

排気ガスからCO₂を回収する装置を船舶に搭載できるようになれば、燃料を選ばずに**CO₂排出ゼロの達成が可能**になります。

すごい!!



もっと知りたい!

水素燃料電池の仕組み

水素燃料電池に
つかわれている
水素燃料電池
ってどうやって
発電しているの
だろう?

参考: 岩谷産業ホームページ
ガスエネキッズ

地球を守る
ゼロエミッション船
作・絵 そうた

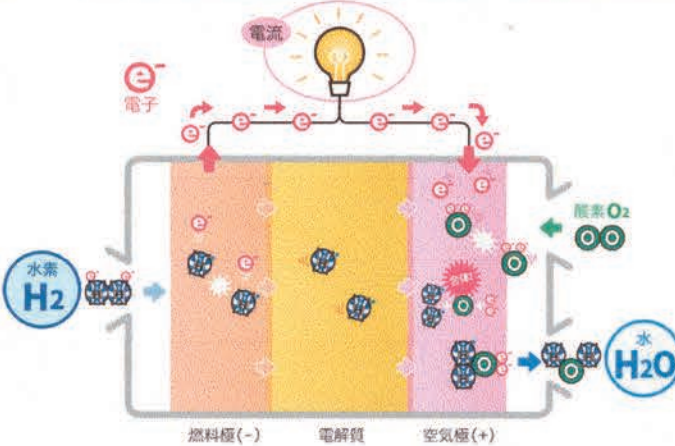
たいへんだ!
地球温暖化
で生き物が
あぶない!

え?!?
GHGを出さない
船が出来るの!?

それにガッコイ!
あたま

地球温暖化を
くい止めるぞ!

水に電気を流して電気分解をすると、水素と水が発生しますが、
燃料電池の仕組みはその逆で、水素と酸素を化学反応させ
て、電池をつくっています。



出典: 岩谷産業ホームページより

発電する時には、電気の
ほかに水が出るだけなので、
**CO2を出さないクリーンな発電
方法**です。

岩谷産業は、今年10月
に水素燃料電池船を完
成させました。
水素燃料電池船の商
用運行は、国内初と
なる見通しです。

万博に
行って乗っ
てみたいな!

ゼロエミッション船と一緒に 地球の未来を救おう!

CO2を排出しないゼロ
エミッション船はSDGsの目標
に関連します。



地球は、ほかたち人間の他にも
たくさんの生物が暮らしています。
ゼロエミッション船の開発も進められて
いるので、ほかたちも**省エネ**や**CO2の削減**
など、温暖化対策をがんばりましょう!

水素燃料電池船「まほろば」完成
岩谷産業 万博会場への運航を計画
岩谷産業は10月24日、水素
燃料電池船「まほろば」が完
成したと発表しました。水素
と酸素を反応させて電気をつ
くる「燃料電池」でモーター
を動かして進みます。全長33メートル、幅8メートルで、150
人まで乗れます。来年4月に開幕する大阪・関西万博の会場
となっている夢洲と、大阪市中心部の中之島を結ぶ計画。水
素燃料電池船の商用運行は国内で初めてとなる見通しです。



(朝日小学生新聞
令和6年11月7日より)

編集後記

ぼくは、もともと生き物が好きで、
地球温暖化に興味がありました。
新聞のテーマを考えているときに、
ゼロエミッション船の資料を見つ
けて、このテーマに挑戦しました。
資料やホームページなどで調
べてみると、いろんな種類のゼロ
エミッション船があり、どの船も格
好よくて、ますます心がひかれまし
た。今回の新聞ではあまりふ
れなかったアンモニア燃料船に
ついて、興味があるので、今後
調べてみたいです。

二〇二四年の世界の平均気温
は、産業革命前と比べると、一五
度以上高くなる見通しだそう
です。これからも、このキレイな
地球を守りたいですね。

引用参考文献・資料

- ・環境を守る「ゼロエミッション船」ってどんな船? (日本海事広報協会)
- ・国土交通省ホームページ
- ・プラティアプラス 地球環境1 (ポプラ社)
- ・かがやけ! みんなのエネルギー (資源エネルギー庁)
- ・岩谷産業ホームページ ガスエネキッズ
- ・朝日小学生新聞
- ・SDGs (カンゼン)